

お札を支える伝統技術

すき入れ・凹版・彩紋の世界

世界に誇る「匠」の技



11.3 [火・祝]

関連イベント開催

- ・自分だけのお札風コラージュを作ろう！
- ・デザイン定規を使って彩紋を作ろう！
- ・工芸官の技を見てみよう！

2026 10.6 [火] >> 11.15 [日]

入場
無料

滋賀県立美術館 1階 ラボ

9:30—17:00

おれは、伝統技術と最先端技術により、偽造を防止することはもちろん、誰にとっても使いやすく、その信頼を深化させています。そこには、和紙の伝統技術を受け継ぎ、シャープで繊細に表現している「すき入れ技術」、1ミリの幅に10本程度の線を彫り、緻密な画線で陰影や質感を表現している「凹版技術」、コンピューターでいくつものデータを組み合わせて作製された幾何学模様の「彩紋技術」が使われています。

今年は、越前和紙の職人から学んだ技術を継承しながら研鑽を続けてきた「すき入れ技術」に焦点をあて、越前和紙の工程を記した「越前紙漉図説」をもとに、現代の紙漉き工程を白黒すき入れ技術で作製した作品を展示しています。

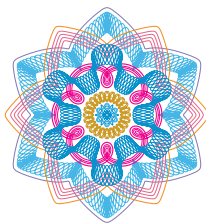
表：「越前紙漉図説 技を繋ぐ」すき入れ美術紙（部分）

「玄宮園から見た彦根城」凹版画（部分）

「ツノメガニII」彩紋画（部分）



▶ 様々な模様を切り貼りして
コラージュを作ります。



◀ デザイン定規を使えば、
誰でも簡単にお札のような
模様を描けます。

▶ 実演では、ビュランとい
う道具を使って銅板に彫刻
します。



「越前紙漉図説 馬鍔で紙をたてる」すき入れ美術紙（部分）

関連イベント 2026年11月3日(火・祝)

自分だけの

参加無料 1 お札風コラージュを作ろう！

お札にまつわる様々な素材を切り貼りして、オリジナルのコラージュを作ります。国立印刷局の工芸官（こうげいかん）がお手伝いします。

事前予約

- ① 10:00～11:00 ② 11:30～12:30
③ 13:30～14:30 ④ 15:00～16:00



[定員] 4組 [所要時間] 60分
[対象年齢] 小学3年生～中学生
[場所] 2階 ワークショップリーム

（親子・兄弟などご家族でご参加いただけます。）
※ 事前予約（空きがある場合は当日参加可）

デザイン定規を使って

参加無料 2 彩紋を作ろう！

紙にデザイン定規で模様を自由に描いてみませんか。事前予約不要でどなたでもご参加いただけます。

[場所] 1階 ラボ前
[彩紋とは?] お札のデザインに使われているさまざまな曲線からなる幾何学模様のことです。

参加無料 3 工芸官の技を見てみよう！

国立印刷局の工芸官による凹版彫刻実演を行います。凹版印刷はお札の肖像にも使われており、偽造防止と意匠性を兼ね備えた高度な技術です。是非熟練した技術を間近でご覧ください。

[場所] 1階 ラボ前
[工芸官とは?] 国立印刷局では、お札のデザインなどの作製に携わる専門技術者を「工芸官」と呼んでいます。



【アクセス】

【公共交通機関をご利用の場合】

JR 琵琶湖線（東海道本線）「瀬田駅」（京都駅から普通電車で約17分）下車、「大学病院」行きのバスに乗り（約10分）、「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」下車（便によって停まるバス停が異なります）、美術館までは徒歩約5分

【お車をご利用の場合】

新名神高速道路「草津田上インター」から約5分、びわこ文化公園駐車場（無料・3か所）利用、美術館までは徒歩約5分

【お問い合わせ】

〒520-2122
滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1
TEL 077-543-2111（電話受付 8:30-17:15）
FAX 077-543-2170
E-MAIL info@shigamuseum.jp

Website
<https://www.shigamuseum.jp/>



Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館